

株式会社 REC

エコアクション21

《対象期間2023年1月～2023年12月》



®環境省
エコアクション21
認証番号0009922

環境経営レポート

2023



発行日 2024年2月1日

目次

★Plan(計画の策定)

1. 組織の概要
2. 認証・登録の範囲
3. 環境経営方針
4. 環境経営目
5. 環境経営計画

★Do(計画の実施)

- 6-1環境計画に基づき実施した取組内容
- 6-2実施体制図

★Check(取り組み状況の確認及び評価)

- 7-1.環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価
- 7-2.次年度の環境経営目標及び経営計画
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

★Act(全体評価と見直し)

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

◆環境経営レポートハイライト◆

1. 組織の概要

- 《事業者名称》 株式会社 REC
- 《代表者》 代表取締役社長 有明 芳 男
- 《所在地》
- ◆本社 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-3
ステーションプラザタワーアネックスウエスト
 - ◆東京本店 〒113-0022 東京都文京区千駄木3-46-2
 - ◆名古屋支店 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-4-11日新火災名古屋ビル
 - ◆大阪支店 〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町1-6-6 カーニープレイス西本町
- 《設立年月日》 創 業 : 1984年 2月 1日
- 《資本金》 9,500万円
- 《事業内容》 総合設備工事業
・許可:建設業
- | | |
|---------------------|---------|
| 国土交通大臣許可(特-2)10783号 | 管工事業 |
| 国土交通大臣許可(般-2)10783号 | 電気工事業 |
| 国土交通大臣許可(般-2)10783号 | 消防施設工事業 |
- 《環境管理責任者》 氏名:土谷 宣人
- 《連絡担当者》 EA21事務局
- 氏名:金谷 雅和
TEL:03-5814-1240
E-mail: m-kanaya@rec-s.co.jp
- 《事業の規模》
- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| ◆年間工事高(2023年12月期) | 3,218,000千円(全社) |
| ◆工事件数(2023年12月期) | 1,125件(全社) |
| ◆事務所(本社・3支店)(2023年12月31日現在) | 1,028.45㎡(全社) |
| ◆全従業員(2023年12月31日現在) | 92名(全社) |

2. 認証・登録の範囲 レポートの対象期間及び発行日

- 《登録組織名》 株式会社 REC
- 《登録の範囲》 全組織・全活動・全従業員
- 《対象期間》 2023年1月1日～12月31日
- 《発行日》 2024年2月1日

環境経営方針

【基本理念】

株式会社 REC は、総合設備工事会社として、
お客様に安心・安全とより良い環境を提供し、社会に信頼される企業を目指しております。
同時に、携わる仕事の中で、環境に配慮したシステムの提案、
施工方法の構築に取り組む事が重要であると考えています。
このような認識のもと、地球にやさしい環境の創造と地球環境に配慮し、
住みよい地域社会実現のために社会的責任を果たし、
持続的な発展が可能な社会づくりに継続して、貢献いたします。

【SDGs宣言】



株式会社RECは、総合設備工事とEA21の活動を通してSDGsの推進に取り組むことで
持続的な社会の実現を目指して参ります。



- 5. ジェンダー平等を実現しよう
- 6. 安全な水とトイレを世界中に
- 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに
- 8. 働きがいも 経済成長も
- 13. 気候変動に具体的な対策を

【行動指針】

- 1. 総合設備工事を通して、環境負荷の低減に向けて組織的に取り組みます。
- 2. 環境に配慮した工法を提案します。
- 3. 環境関連法規等を遵守します。
- 4. 化学物質の適正管理に努めます。
- 5. 環境経営方針を文書化し、従業員に周知徹底します。
- 6. 環境への取り組みを環境経営レポートにして公表します。



【改定日】2022年4月1日

株式会社 REC
代表取締役社長

有明芳男

4. 環境目標(排出量及び原単位)

《環境目標(排出量及び原単位)》

(表-1)

		基準年度	短期目標	中期目標
		2021年1月～	2023年1月～	2025年1月～
		2021年12月	2023年12月	2025年12月
電力使用量削減	CO2排出量	37,994	37,614	36,854
	kg-CO2/床面積㎡	36.9	36.5	35.8
	削減目標	100 %	99.0 %	97.0 %
燃料使用量削減(ガソリン)	CO2排出量	25,241	25,241	25,241
	削減目標	100 %	100.0 %	100.0 %
廃棄物排出量の削減(一般)	排出量	4,409	4,409	4,409
	kg/人	57.0	57.0	57.0
	削減目標	100 %	100.0 %	100.0 %
産業廃棄物の削減(産廃)	排出量	86,768	86,768	86,768
	削減目標	100 %	100.0 %	100.0 %
水道水使用量削減	水道使用量	724	724	724
	㎥/人	9.0	9.0	9.0
	削減目標	100 %	100.0 %	100.0 %
グリーン購入	%	85.0%	78.0%	78.0%
	増加目標	100 %	100 %	100 %
環境に配慮した施工方法の提案	件		- 件	35 件
	増加目標		※	

※環境に配慮した施工方法の提案は基準変更につき過年度と比較ができない為、目標は未設定としております
 ※化学物質については使用していない為、除外と致します。

《二酸化炭素排出量の目標(総量)(単位:kg-CO2)》

(表-2)

		基準年度	短期目標	中期目標
		2021年1月～	2023年1月～	2025年1月～
		2021年12月	2023年12月	2025年12月
二酸化炭素排出量削減		63,235	62,855	62,095
		100 %	99.4 %	98.2 %
電力使用量削減		37,994	37,614	36,854
		100 %	99.0 %	97.0 %
燃料使用量削減(ガソリン)		25,241	25,241	25,241
		100 %	100.0 %	100.0 %

(注) 購入電力の排出係数は、国が公表する電気事業者毎の排出係数

2021年度実績値(2023年1月24日公表)

店名	排出係数	電気事業者名
本社	0.277kg-CO2/kWh	東京ガス株式会社
東京本店	0.277kg-CO2/kWh	東京ガス株式会社
名古屋支店	0.377kg-CO2/kWh	中部電力ミライズ株式会社
大阪支店	0.350kg-CO2/kWh	関西電力株式会社

5. 環境経営計画

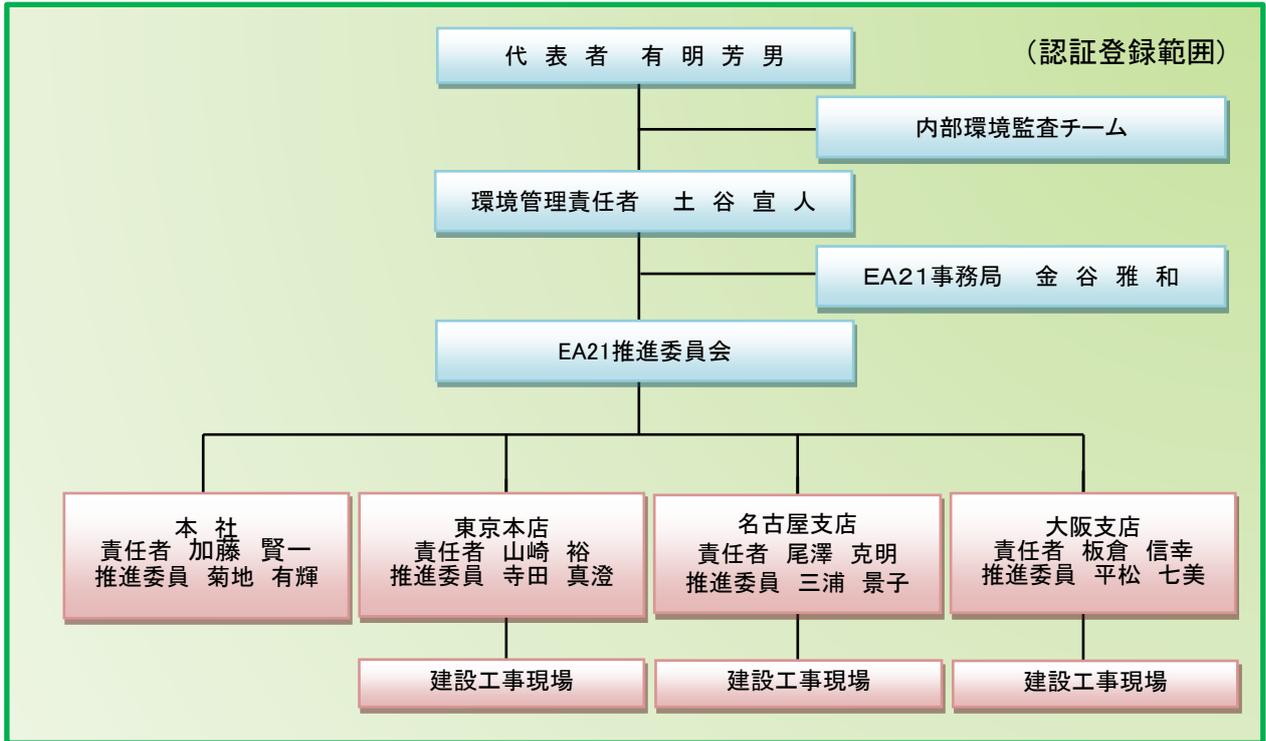
6-1. 実施した取組内容

(表-3)

環境経営計画	実施した取組内容
<p>二酸化炭素排出量削減(電気)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 昼休みの消灯 ② エアコンの適正温度(冷房:28℃ 暖房:20℃) ③ クールビズ・ウォームビズ運動 ④ OA機器の節電モード ⑤ 温水洗浄便座の温度設定 	<p>クールビズ、ウォームビズの推進 事務所LED化</p> 
<p>二酸化炭素排出量削減(ガソリン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 公共交通機関を積極的に利用 ② 不要なアイドリングをしない ③ 遠距離以外は給油は1/2とする。 ④ 定期的な車両の点検 ⑤ 不要な荷物は積まない 	<p>昼休みの消灯 エコカーの活躍</p> 
<p>水道水使用量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 手洗い時の節水 ② 締め忘れ防止 ③ 節水ゴマの設置 	<p>節水ゴマの設置 竣工図書のデジタル化</p> 
<p>廃棄物排出量の削減(一般)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 竣工図書のデジタル化 ② 両面コピーの励行 ③ コピー用紙の片面印刷物の再利用 ④ コピー機は使用後は節電モードにする 	<p>荒川区エコフワード事業者の認定</p> 
<p>混合産業廃棄物の割合の削減(産業廃棄物)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 保存書類を契約倉庫に委託する ② 元請工事での分別、再利用、再資源の推進 ③ 建設産業廃棄物の適正処理 	
<p>グリーン購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 物品を購入する前に必要性を検討 ② 環境に配慮した物品(事務用品) 	<p>従業員への環境方針カード・SDGsバッジ配布で意識向上</p>
<p>環境に配慮した施工方法の提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 施工検討会の実施 ② 技術発表会にて改善事例報告 	

6-2. 実施体制図/責任と役割及び権限

《体制図》



《責任と役割及び権限》

担当者	責任と役割及び権限
代表取締役 有明 芳男	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ● 経営資源の準備 ● 全体評価と見直しを実施 ● 環境経営レポートの承認
内部環境監査チーム	<ul style="list-style-type: none"> ● 各支店の活動内容が、環境経営方針、環境経営目標の達成に適切かを検証。 ● 内部環境監査結果報告書を作成しEA21推進委員会へ報告。
環境管理責任者 土谷 宣人	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境経営システムの構築・実施・管理 ● 法規制等の取りまとめ ● 環境経営レポートの確認 ● 環境活動取組に結果を代表者へ報告
EA21事務局 金谷 雅和	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ● 環境経営レポートの作成 ● 計画書・手順書作成及び管理 ● 環境経営レポートの作成・公表(事務局に備付けと地方事務局への送付)
各店責任者	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境管理責任者への支援 ● 環境経営計画表への定期的な評価・指示 ● 環境教育訓練の作成・実施 ● 環境教育訓練計画書・手順書の作成及び管理 ● 外部からの問題点に対する対応
EA21推進委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 計画書・手順書作成及び管理 ● 環境経営方針への理解と取組みへの自覚 ● 従業員に対する環境教育訓練の実施 ● 問題点の発見・是正・予防処置
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ● 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

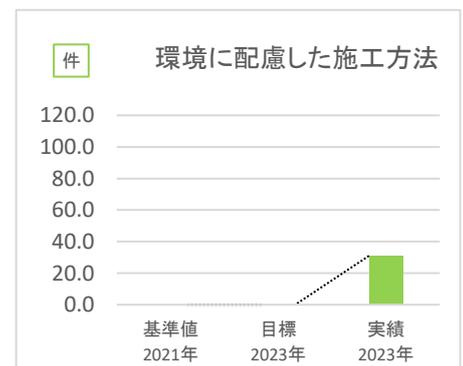
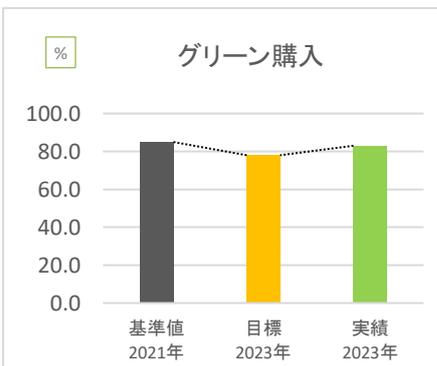
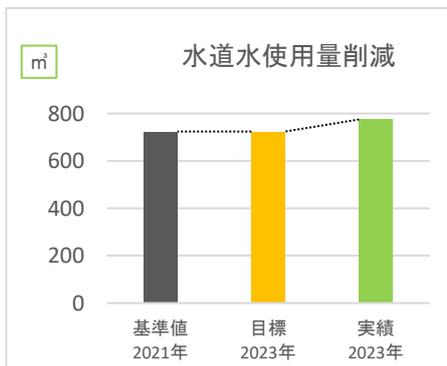
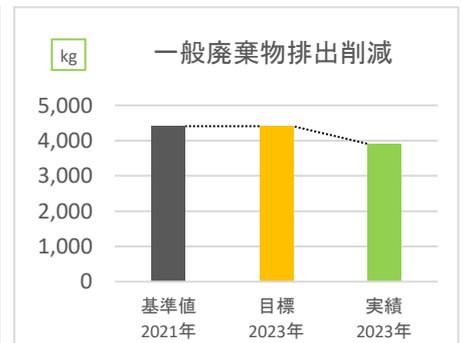
7-1. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果の評価

①環境目標及びその達成状況（期間：2023年1月1日～12月31日）

(表-1)

		基準値	目標	実績	要因と評価
		2021年	2023年	2023年	
		1月1日～12月31日	1月1日～12月31日	1月1日～12月31日	
電力使用量削減	CO2排出量	37,994	37,614	39,970	・猛暑の影響もあり、目標を上回った。空調の適切な温度設定、昼休みの消灯等、できる限りの努力をしているが、体調に支障や仕事の効率を落とすことは本末転倒であるのでできる限りの努力を続けていく。
	kWh/床面積	36.9	36.5	38.9	
	増減率	100 %	99.0 %	105.4 %	
燃料使用量削減 (ガソリン)	CO2排出量	25,241	25,241	23,258	・目標値を大幅に下回った要因としては、近距離の現場への移動には、公共交通機関を利用し、自動車の使用が遠距離現場への移動に限られた結果であると思われる。
	増減率	100 %	100.0 %	92.1 %	
一般廃棄物排出量の削減	排出量	4,409	4,409	3,913	・目標値を下回ることができた。整理に伴う本社と名古屋支店の排出量の増加があった中で全体を削減できたことはペーパーレスが進んでいると考えられる。
	kg/人	57.0	57.0	54.4	
	増減率	100 %	100.0 %	95.4 %	
産業廃棄物排出量の削減	排出量	86,768	86,768	123,625	・元請現場の増加により排出量は増加した。廃棄場所の設置を現場監査しており、管理を強化している。
	増減率	100 %	100.0 %	142.5 %	
水道水使用量削減	排水量	724.0	724.0	775.0	・コロナ禍の影響が多少はあると思われる。しかし、節水意識を持つことで、出しっぱなしなどで無駄にしないよう1人1人の節水意識を高めていきたい。
	m ³ /人	9.0	9.0	11.0	
	増減率	100 %	100.0 %	122.2 %	
グリーン購入	%	85.0%	78.0%	83.0%	・物品の購入の際にはグリーン商品を優先的に購入することが意識づけられている。今後も、100%を目指し推進していきたい。
	増減率	100 %	92 %	97.6 %	
環境に配慮した施工方法の提案	件	-	-	31	・形骸化していた部分もあり、今年からは、評価基準を変更して、環境効果のある提案に定義を変更した(基準変更により目標は未設定)。
	増減率				

※基準変更につき過年度と比較ができない為、目標は未設定としております

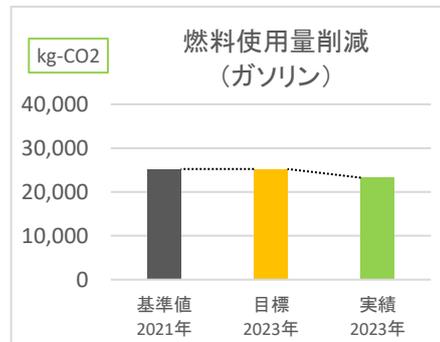
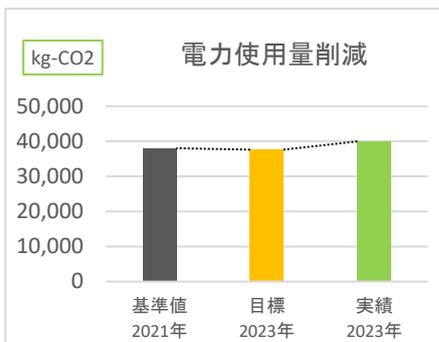
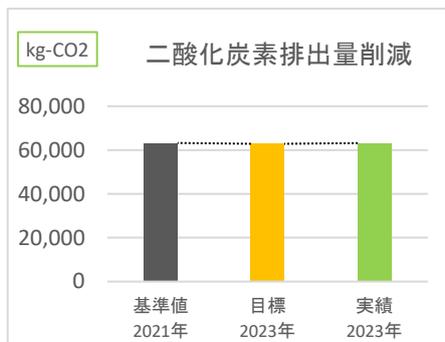


※期間における二酸化炭素排出量の目標と実績（排出量）

（表－２）

	基準値	目標	実績	要因と評価
	2021年	2023年	2023年	
	1月1日～12月31日	1月1日～12月31日	1月1日～12月31日	
二酸化炭素排出量削減	63,235	62,855	63,229	<ul style="list-style-type: none"> ・目標は達成できなかったが、近似値であり、誤差範囲と考えられる。今後は現状を維持しつつ、従業員1人1人の意識を更に高めていきたい。 ・猛暑の影響もあり、目標を上回った。空調の適切な温度設定、昼休みの消灯等、できる限りの努力をしているが、体調に支障や仕事の効率を落とすことは本末転倒であるのでできる限りの努力を続けていく。 ・目標値を大幅に下回った要因としては、近距離の現場への移動には、公共交通機関を利用し、自動車の使用が遠距離現場への移動に限られた結果であると思われる。
	100 %	99.4 %	100.0 %	
電力使用量削減	37,994	37,614	39,970	
	100 %	99.0 %	105.2 %	
燃料使用量削減 （ガソリン）	25,241	25,241	23,258	
	100 %	100.0 %	92.1 %	

（注）購入電力の排出係数は、国が公表する電気事業者毎の排出係数



7-2. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

(表-1)

		基準値	目標	次年度環境経営計画
		2021年	2024年	
		1月1日～12月31日	1月1日～12月31日	
電力使用量削減	CO2排出量	37,994	37,273	①昼休みの消灯 ②エアコンの適正温度 ③クールビズ・ウオームビズ運動 ④OA機器の節電モード ⑤温水洗浄便座の温度設定
	kWh/床面積	36.9	36.2	
	増減率	100 %	98.1 %	
燃料使用量削減 (ガソリン)	CO2排出量	25,241	25,241	①公共交通機関を積極的の利用 ②不要なアイドリングをしない ③遠距離以外は給油は1/2とする ④定期的な車両の点検 ⑤不要な荷物は積まない
	増減率	100 %	100.0 %	
一般廃棄物排出量 の削減	排出量	4,409	4,409	①竣工図書のデジタル化 ②両面コピーの励行 ③コピー用紙の片面印刷物の再利用 ④コピー機の使用後は節電モードにする
	kg/人	57.0	57.0	
	増減率	100 %	100.0 %	
産業廃棄物排出量の削減	排出量	86,768	86,768	①保存書類を契約倉庫に委託する ②元請工事での分別、再利用、再資源の推進 ③建設産業廃棄物の適正処理
	増減率	100 %	100.0 %	
水道水使用量削減	排水量	724.0	724.0	①手洗い時の節水 ②締め忘れ防止 ③節水ゴマの設置
	m ³ /人	9.0	9.0	
	増減率	100 %	100.0 %	
グリーン購入	%	85.0%	78.0%	①物品を購入する前に必要性を検討 ②環境に配慮した物品(事務用品)
	増減率	100 %	92 %	
環境に配慮した施工 方法の提案	件	-	35	①施工検討会の実施 ②技術発表会にて改善事例報告
	増減率	100 %	%	

※期間における二酸化炭素排出量の目標と実績 (排出量)

(表-2)

		基準値	目標	次年度環境経営計画
		2021年	2024年	
		1月1日～12月31日	1月1日～12月31日	
二酸化炭素排出量削減		63,235	62,475	上記記載通り
		100 %	98.8 %	
電力使用量削減		37,994	37,234	上記記載通り
		100 %	98.0 %	
燃料使用量削減 (ガソリン)		25,241	25,241	上記記載通り
		100 %	100.0 %	

(注)購入電力の排出係数は、国が公表する電気事業者毎の排出係数

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

(表-1)

法規制等の名称	要求事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> ・委託業者の委託契約書及び業者の許可内容が適正である事の確認及び許可証の写し保管 ・最終廃棄物の削減 ・マニフェスト票による管理 	適正処理
建設工事に係る資材の再資源化に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> ・産廃業者を通じて分別、再資源化 	適正処理
労働安全衛生法	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質等の危険有害性等の調査 	適正処理

《違反・訴訟等の有無》

環境関連法規への違反・訴訟はありませんでした。

また、過去3年間にわたり、関係機関からの違反指摘等はありません。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

2020年から続いているコロナ禍もようやく落ち着きを見せ、換気や清掃による電気・水道の使用量は減少してきました。一方、夏場の異常気象の影響で特にエアコン利用による増加が認められました。

削減余力のある電気を除いて、現状維持を目標として社員のやる気を失わせないようにしました。さらにマンネリ化を防ぐために、環境推進委員の任期を3年とし、隔月であった環境ニュースを発行することで社員に環境意識をもってもらうようにしました。EA21活動に無関心な社員が1人でも減れば良いと思っています。

当社の環境経営の柱である「環境に配慮した施工方法の提案」について、改正案を作成しました。より環境効果の高い提案ができるように推進して参ります。

2024年4月から建設業の残業規制が始まることで生産性を高めていくことが要求されます。多くの課題がありますが、労働時間の削減は、光熱費等の削減に直結します。この規制をマイナスとして捉えるのではなく、プラスの機会として捉えることで地球環境保護に貢献していきたいと思っております。

10. 環境経営レポートハイライト



☆RECのこれまでのエコアクション活動結果を年度推移のグラフにしました！！

